

第74回Tohtechサロン

東北工業大学地域連携センターは、最新の技術・研究の動向や情報発信、技術提供など、地域産業、自治体、住民の皆さまと研究者との交流の場として「Tohtechサロン」を定期的で開催しております。

今回は、今年度から地域連携センター長に就任しました 小祝 慶紀 教授の専門分野である環境経済学についての講演を致します。皆さまにおかれましてはご多忙のことと存じますが、是非ご参加下さいませよう御案内申し上げます。

講演
内容

持続可能な企業活動への経済学

～SDGsと環境の観点から～

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 教授
地域連携センター センター長

小祝 慶紀

日時： 令和元年7月19日(金) 18:00 ～ 19:30

会場： 東北工業大学一番町ロビー 2階ホール
(仙台市青葉区一番町1-3-1 TMビル2階)

TEL 022-723-0538 FAX 022-263-8606

主催： 東北工業大学

参加費： 無料

◇プログラム◇

- 17:30 ～ 開場
- 18:00 ～ 開会 挨拶
- 18:05 ～ 講演
- 19:15 ～ 質疑応答
- ～ 19:30 閉会



※地下鉄東西線青葉通一番町駅から徒歩5分、駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

《第74回Tohtechサロン 参加申込書》

貴社・団体名／			
所属・役職	氏名	連絡先	
		tel	E-mail
		tel	E-mail
		tel	E-mail

◆お申し込みはFAXまたはE-mailをお願いします

◆送付先◆ 東北工業大学 地域連携センター E-mail : rc-center@tohtech.ac.jp
Tel. 022-305-3801 Fax. 022-305-3808

持続可能な企業活動への経済学

～SDGsと環境の観点から～

東北工業大学 ライフデザイン学部 経営コミュニケーション学科 教授
地域連携センター センター長
小祝 慶紀 先生

企業活動の目的は、経済学の用語で言えば、「利潤最大化」ということになります。しかし、現在では、自己の利益を最大化するだけでは、企業活動として十分ではなくなってきています。その要因の一つに「環境」があります。環境を考慮しない企業行動は、「持続可能な」企業として発展していくことが難しくなってきています。それは、経済のグローバル化によって環境問題も地球規模へと拡大してきたことがあります。このような時代の変化を受けて、これまでのように、環境問題や環境に掛かる社会的費用を考慮しない企業行動では、地球環境問題へ対応することが難しくなってきています。また、「経済と環境保全の両立」という理念でもある「持続可能な発展」を実現するための社会・経済の構築も重要な課題となっています。

一方、環境に配慮する企業行動を行うことは、経営の効率化をもたらす収益にも貢献することが認識されてきました。環境問題は多分に不確実性を有します。しかし、それを理由に対策をとらない場合、ひとたび環境問題が発生すれば、それに伴う被害や社会的費用が非常に大きくなり、長時間にわたる極めて深刻な、あるいは不可逆的な影響をもたらす場合が多いのです。これは結果的に企業活動を弱めていくことにもなります。したがって、あらかじめ環境に配慮した企業行動を実践することは、不確実性を有する環境問題に対する社会的費用の低減になり、企業行動にとって、新たな「利潤」を生むことになります。さらに、環境問題を予防するという社会的貢献にもつながるはずです。

このような背景から本講座では、環境に配慮した企業行動とは何か、持続可能な社会の構築に取り組むために必要なものは何か、について経済学のツールとSDGsの考え方から説明したいと考えます。環境問題への取り組みはこれまで大企業が中心でしたが、地域を支える中小企業も、環境に配慮し企業行動を実践しています。そのような事例も講座では紹介していきます。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講師紹介

小祝 慶紀 教授

KOIWAI Hironori

環境経済学、法と科学、環境政策学

環境法制度の経済学的分析

環境問題は複雑で、私たちの生活の過程での問題でもあります。この環境問題へどう取り組むのか、そのとき法制度が私たちの生活にどう影響をもたらすのかを考えるのが、法と経済学です。法と経済学は、経済・社会システムの持続性を問う、新たな視角を提供してくれるのです。

(学科プロフィール引用)

